

第6回 低炭素まちづくりフォーラム in 埼玉 申込用紙

必要事項をご記入のうえ、ファックスまたはメールにてお申し込みください。

FAX:048-749-1218 E-mail:goto@kannet-sai.org

個人情報は、目的以外に使用しません。定員に達し、ご参加いただけない場合のみご連絡いたします。

| | |
|--------|---|
| 氏名 | |
| 所属 | |
| 住所 | 〒 |
| TEL | |
| FAX | |
| E-mail | |

↓ 分科会の参加について (いずれかにチェック) ※各定員50名

| | |
|--------------------------|--------------------|
| <input type="checkbox"/> | 低炭素な地域づくり |
| <input type="checkbox"/> | くらしのエコ |
| <input type="checkbox"/> | 化学物質と食 |
| <input type="checkbox"/> | 生きものと環境教育 |
| <input type="checkbox"/> | ESD 持続可能な地域活性化のために |

※ご希望にそえない場合がありますので、予めご了承ください。

↓ 交流会について

| | |
|--------------------------|------------------------------------|
| <input type="checkbox"/> | 交流会に参加します ※会費 (3,000円程度) はご負担ください。 |
|--------------------------|------------------------------------|

※事前準備の都合上、直前でのキャンセルは、キャンセル料をいただきます。

↓ 報告書について (希望される方には、後日報告書を送付します)

| | |
|--------------------------|---|
| <input type="checkbox"/> | 報告書を希望します ※報告書代300円/冊 (送料含む) を当日受付で徴収いたします。 |
|--------------------------|---|

問合せ
連絡先

埼玉県地球温暖化防止活動推進センター (認定特定非営利活動法人環境ネットワーク埼玉)
〒330-0074 埼玉県さいたま市浦和区北浦和5-6-5 埼玉県浦和合同庁舎3階
TEL:048-749-1217 FAX:048-749-1218 E-mail:goto@kannet-sai.org
URL: http://www.kannet-sai.org/

第6回 低炭素まちづくりフォーラム in 埼玉

つながろう 広がろう エコの環



参加
無料

2015年12月12日 土

会場/大宮ソニックシティ4階
市民ホール

定員/250名 **要申込** **先着順**

※報告書をご希望の方は、300円/冊 (送料含む)

このフォーラムは低炭素社会の実現に向けて、ワークショップやパネルディスカッションを通じて、現代のライフスタイルを見直すとともに、問題や課題を発見し今後の取組へと繋げます。さらに埼玉県地球温暖化防止活動推進員及び県内の環境団体・企業・学生の情報交換、交流、研修及び政策提言の場とします。

主催: 第6回低炭素まちづくりフォーラム in 埼玉実行委員会
共催: 埼玉県地球温暖化防止活動推進センター (認定特定非営利活動法人環境ネットワーク埼玉) 後援: 埼玉県・さいたま市

※当フォーラムは、環境省「平成27年度地域における地球温暖化防止活動促進事業」の一環で行います。
また、公益財団法人サイサン環境保全基金の助成を受けています。

プログラム

- 10:00~10:10 **開会挨拶**
- 10:10~11:40 **基調講演** / 質疑応答(市民ホール)
「2030年:熱い埼玉! 都市の低炭素化への戦略は」
高口 洋人氏(早稲田大学理工学術院 創造理工学部 建築学科 教授)
- 11:40~13:00 **昼食(休憩)** ※昼食時、市民ホールは場面転換のためご利用できません。
- 13:00~16:30 **分科会** 5つの分科会を開催します。希望の分科会にお申し込みください。
●低炭素な地域づくり
●くらしのエコ
●化学物質と食
●生きものと環境教育
●ESD 持続可能な地域活性化のために
- 17:30~ **交流会** 希望者は別会場にて交流会を行います。交流会費(3,000円程度)はご負担ください。

講師プロフィール



たかくち ひろと
高口 洋人氏

早稲田大学理工学術院 創造理工学部 建築学科 教授
1970年 京都府生 博士(工学)・早稲田大学
〔専門分野〕建築環境学、都市環境学、環境メディア学、環境政策
2002年に博士(工学)を取得し、九州大学人間環境学研究センター特任教授、早稲田大学理工学術院准教授等を経て、現職・同教務主任を務める。
学外では日本建築学界関東支部常議員や埼玉県地球温暖化対策の検討に関する専門委員会委員等を務める。
〔主な研究〕建築・都市の省エネルギー技術、エネルギー消費量データベース、他。
〔著書〕「完全リサイクル型住宅I・II」「地方都市再生の戦略」「都市環境学」他。

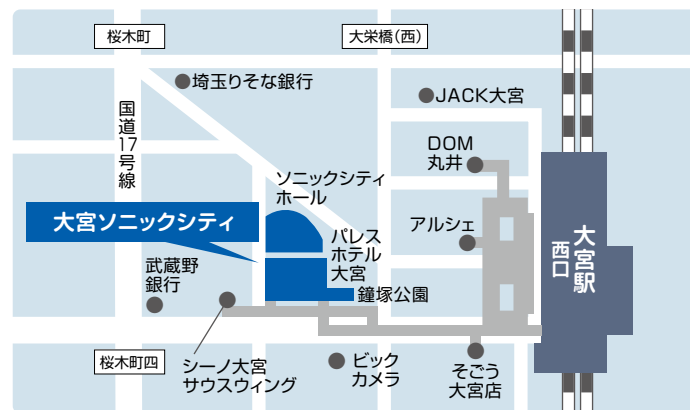
会場アクセス

大宮ソニックシティ

〒330-8669
埼玉県さいたま市大宮区桜木町1-7-5

○JR・東武野田線「大宮駅」西口
歩行者デッキにて直結。徒歩約3分

※駐車場はございませんので、公共交通機関をご利用ください。



分科会紹介

講 講演 発 事例発表 ワ ワークショップ
パ パネルディスカッション 意 会場意見交換

低炭素な地域づくり ~始めようコンパクトなまちづくり~ 講 パ

地球環境に優しい生き方が地球温暖化への緩和策であり適応策です。当分科会は新しい視点での暮らし方を提案する「コンパクトなまちづくり」について、行政や民間の事例を交え学習します。平成24年度に制定された通称「エコまち法」の概要を把握し、来るべき2030年に向けて私たち自身に何ができるか、関係者の意見を聞きながら会場の皆様と一緒に熟慮を深めます。



くらしのエコ 地産地消とエコ生活~国際土壌年2015に因んで~ 講 意

日頃のくらしの中で無理せず工夫することにより、私たちはエネルギーの無駄とごみを減らすことができます。食糧の安全保障、気候変動への適応と緩和、生態系保護のためには良質の土壌を保つことが重要です。今年が国際土壌年であることを踏まえ、生ごみの堆肥化等を通じてより良い土壌作りのための事例を紹介し、その後、生ごみを資源として地球資源の保全を図るための対策を会場の皆様と一緒に討議します。



化学物質と食 ~誰もが食べている化学物質…正しく理解しよう~ 講 意

現在私たちの生活は多くの化学物質を便利に活用し、無意識に使用しています。このような化学物質は私たちの食生活をも豊かにし、暮らしに欠かせないものです。しかし一方で、次々と出てくる新たな化学物質による環境への汚染や有害性も懸念されています。今回、有識者による講演と様々な角度から化学物質を扱っている3事例を通して、日々の食生活についてのリスクや安全性について正しく理解を深めます。



生きものと環境教育 ~市民参加型生きもの調査から見えてくるもの~ 発 ワ

私たちを取り巻く環境が良くなることは難しい? ただ、私たちの努力でその汚染を遅延することはできないのでしょうか。行政と協働した市民参加型の生きもの調査を実施することで、身近な生きものから周りの環境が見えてきます。今回は越谷市・さいたま市での生きもの調査の取組を中心に活動方法を学習します。そして、環境保全のために私たちに何ができるかを皆さんと一緒に考えてみる機会とします。



ESD 持続可能な地域活性化のために ~私たち学生に何が出来るか一緒に考えよう~ 発 ワ

次世代の学生や子どもたちと今の世代の大人が協力しあい、地域と世界の課題を見つけ、問題解決を考えるのがESD(持続可能な開発のための教育)です。日本でも小中高の公立学校やユネスコスクールでESD授業が実施され、若者によるESDプログラムも全国で行われています。当分科会では、学生を主体として、地域の課題に対して何が出来るかをテーマに、フューチャーセッションを取り入れたワークショップにて討議します。

